

第1回小牧市教員の多忙化解消推進委員会会議録

1 開催日時	令和6年7月11日（木） 午前10時00分から
2 開催場所	小牧市役所東庁舎 本会議用控室
3 出席	長谷川委員長、富田副委員長、前原委員、丹羽委員、石黒委員、光部委員、櫻本委員、大久保委員、小澤委員、合田委員、吉田委員
4 欠席	なし
5 事務局	■学校教育課 吉田課長、采女管理指導主事、高堀指導主事、山下係長 ■教育総務課兼学校教育ICT推進室 丸藤課長
6 傍聴者	0人
7 議題	（1）小牧市教員の多忙化解消プランの進捗状況について （2）その他

＜開会 午前10時00分＞

1 開会

（吉田課長）

皆様、本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。
 定刻となりましたので、ただ今より、「第1回小牧市教員の多忙化解消推進委員会」を開会いたします。

私は、司会を務めさせていただきます。小牧市教育委員会学校教育課長の吉田です。

よろしくお願いします。

＜資料確認＞

まず始めに、資料の確認をさせていただきます。

- ・ 次第
- ・ 推進委員会委員名簿
- ・ 推進委員会設置要綱
- ・ 小牧市教員の多忙化解消プラン
- ・ 小牧市教員の多忙化解消プラン進捗状況
- ・ 令和5年度 市内小中学校 在校時間記録
- ・ 超過勤務45時間超の主な理由
- ・ 座席表でございます。

不足などがございましたら、お申し出ください。

傍聴について

続きまして会議の公開について、本委員会は、「小牧市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき開催するものでございます。

そのため、個人が特定可能な議題などを除き、原則公開とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。なお、本日の傍聴はございませんでしたのでよろしくお願いします。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。開会にあたりまして、采女学校教育課管理指導主事よりあいさつを申し上げます。

(1) あいさつ

(采女管理指導主事)

本日はお足元の悪い中、お越しいただきまことにありがとうございます。いよいよ小中学校では来週に終業式を迎え一学期のまとめの時期を迎えております。また、中学校においては中学3年生が最後の夏の中小体連大会の最中であり、先週の土日の大会は警戒アラートの発出される中の大会運営となり、一部競技を中止にしたり延期にしたりする中で、この暑さに負けないように子どもたちの熱い気持ちを大切にしながら大会運営をしていただいております。さて、国では昨年6月に第4次教育振興基本計画が内閣府で閣議決定され、令和6年4月より本格運用しております。この教育振興基本計画には2つのポイントが掲げられています。教育の不易と流行のバランス、いわゆる教育基本法に掲げられている大切なことに加えて、社会の流れニーズにあわせて変化をさせること、Society5.0時代を迎えつつ教育だけでなく社会の予測困難な時代に突入しその予測困難な時代の中でも教育の力で羅針盤となる子を育てることこれが大きな2つの柱です。キーワードはウェルビーイング 子どもたち、先生方、社会全体を巻き込んだ生きがい・幸せを教育で構築していくということがあります。多忙化解消は喫緊の課題であり、一方で教育を担保することは極めて重要なことでもあります。

委員の皆様からご意見をいただき、将来の小牧、子どもたち、教職員、地域の皆様にとってウェルビーイングな話し合いができますようお願いをいたします。

(2) 委員の委嘱について

(吉田課長)

続きまして、「委員の委嘱について」であります。

皆様方におかれましては、ご多忙の中にもかかわらず、委員就任についてご快

諾賜りまして、誠にありがとうございました。

委嘱状につきましては、本来であればお一人ずつにお渡しするのが本意でございますが、時間の関係上、大変恐縮ではございますが、あらかじめ机面上にご用意させていただきましたので、よろしくお願いします。

それでは、大変恐縮ではございますが、委員の皆様より自己紹介をお願いしたいと思います。

名古屋経済大学 前原 宏一 様

区長会連合会長 富田賢史様

小牧市PTA連絡協議会 丹羽隆彦 様

小牧市PTA連絡協議会 石黒岳 様

地域コーディネーター 光部 明美 様

小木小学校長 長谷川裕城 様

小牧中学校長 櫻本寛之 様

北里小学校長 大久保和則 様

小牧南小学校教頭 小澤 賢子 様

小牧中学校教諭 合田亮介 様

味岡小学校教諭 吉田ゆかり 様

続きまして事務局の紹介をさせていただきます。

教育総務課 丸藤課長

学校教育課 采女管理指導主事

学校教育課 高堀指導主事

学校教育課 山下係長

私、学校教育課長の吉田です。よろしくお願いします。

（３）会議の運営等について

（吉田課長）

続きまして、会議の運営等について、担当よりご説明いたします。

（高堀指導主事）

恐れ入れますが、資料の「小牧市教員の多忙化解消推進委員会設置要綱」をご覧ください。

まずは、第１条及び第２条をご覧ください。この委員会は、令和元年に策定された資料２「小牧市教員の多忙化解消プラン」の進捗管理を行い、その見直しや多忙化を解消するための具体的な取組について検討し、教員の多忙化の解消を図るために設置するものでございます。

第３条、組織等ではございますが、この委員会は、学識経験者、学校関係者、地域住民の代表者、児童生徒の保護者、地域コーディネーターの代表者等、１１

人以内の委員で組織し、任期は今年度中でございます。

第4条、この会には、委員長、副委員長を置き、委員の互選で定めるとしておりますので、後ほど委員の皆様にご審議をお願いします。

第5条、会議は、委員長により招集され、議事につきましては、委員長に取り回しをお願いするものであります。

以下につきましては、ご覧おきください。よろしくお願いします。

（吉田課長）

会議の運営等について、事務局よりご説明申し上げましたが、ご質問があればお受けいたします。よろしいでしょうか。

2 委員長、副委員長選出について

（吉田課長）

それでは、次第の2、委員長、副委員長の選任をお願いしたいと思います。

先ほどご説明申し上げましたが、委員長、副委員長の選任につきましては、委員の互選により定めるとされております。

恐れいりますが、委員の皆様より、立候補あるいはご推薦をいただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

（大久保委員）

推薦をしたいと思います。委員長におかれましては昨年度よりこの委員会に参加をされております長谷川委員を委員長に、また、副委員長におかれましても昨年度より参加をされております区長会連合会長の富田委員をお願いしたいと思います。

（吉田課長）

ただいま、大久保委員より委員長には長谷川委員、副委員長には富田委員という発言がありました。委員のみなさま、委員長と副委員長の選任につきましていかがでしょうか。

「異議なし」の声あり

皆様のご異議もないということですので、委員長は長谷川委員、副委員長は富田委員をお願いしたいと思います。

それでは、長谷川委員におかれましては、大変恐縮でございますが、委員長席へ移動願います。

「席移動」

それでは、改めまして、委員長にご就任いただきました長谷川委員にごあいさつをいただきたいと思います。長谷川委員長よろしくお願いします。

（委員長）

ただいま委員長に承認いただきました長谷川です。不慣れですけれども、皆様のお力を借りながら、この会を進めていけたらと思っております。

教員の多忙化解消ということは、教員の負担を軽減していく、仕事の全体を減らしていくことでありますが、教育の基本は大切なことであり、削減できるところを削減することとなります。多忙化解消は保護者のみならず地域の方の理解を得ながら進めることが非常に大切であると考えております。各校の意見、地域の方の意見を伺いながら会を進めていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

（吉田課長）

ありがとうございます。ここからの議事の取り回しにつきましては、委員長にお願いしたいと思います。委員長よろしく申し上げます。

3 議題

（１）小牧市教員の多忙化解消プランの進捗状況について

（委員長）

それでは、議題（１）小牧市教員の多忙化解消プランの進捗状況について、事務局より説明を求めます。

（高堀指導主事）

資料３小牧市教員の多忙化解消プランの進捗状況についての説明

（委員長）

はい、ありがとうございます。事務局から説明がありましたけれども、多忙化解消プランの進捗状況を踏まえて、今後の具体的な取り組みについて、委員の皆様から忌憚ないご意見をいただきたいなと思います。

（丹羽委員）

持ち帰りの仕事、いわゆるサービス残業はされてないでしょうか。

（吉田委員）

自宅でリモートを行うことがあります。平日、土日関わらず、平日学校でやりきれないもの、また家庭事情により帰宅した後、リモートで現状は行います。

（丹羽委員）

その部分も資料数字に出ているのか

（吉田委員）

在校時間は学校にいる時間であります。

（委員長）

個人情報に関わるものは持ち帰っていないが、教科書などは持ち帰り研究、自己研鑽はあります。

（吉田委員）

個人の勉強、本当にやらなければ学校運営ができないものと、よりよくなるものの切り分けはできていますか。一度になくすのは難しくても、切り分けが進めば、一歩すすむのではないのでしょうか。

(管理指導主事)

研修・研究は教職員の義務であります。法令で定められた研修・免許更新のために研修（廃止されましたが）研究は義務であり、研修履歴、自己啓発研修、最新の教科内容（教科書改訂に向けたものなど）良い授業を提供するためには、指導案を作成することは教育の充実のため行わなければならないものです。ただ、放課後にチャイムとともに途端に先生が研究研修を行うことは下校を見守ることなどがありますので難しいところです。

(丹羽委員)

その後に（子どもたちが帰ってから）積みあがるものだとわかりました。

(富田委員)

学級事務が多いことについては仕方がないと思います。授業準備について小中で差があることが気になります。

(管理指導主事)

小学校については教科書改訂があったため、授業準備時間が伸びたものであります。

(富田委員)

今4人に一人が若い先生かと思いますが、ベテランの先生にフォローいただくことは？20代が精神疾患で療養休暇に入っている方が多いと資料からわかります。若い先生に対して教科指導・生徒指導など支援をどのように行っていますか。

(高堀指導主事)

悩みを抱えられている方はいます。法令研修のほかに、学校現場の中で育てるという考えがあり、学校の中で管理職や学年で相談を行うこと、教科ごとの教育研究会など学校を超えて研修を行うことなどがあります

(管理指導主事)

各学校では若手での授業研究会があります。下校後、夕方に集まって、ベテラン教員を講師に研修を行うことは在校時間に積みあがっているところです。

(大久保委員)

本校では学期に1回ずつ行っています。若手教員が授業を見てくださいということもあります。夕方の研修は残ることができる方で行うこともあります。在校時間を延ばさないため、校長が授業時間に学校をまわり話しかけると、若手教員から相談があることもあります。

(合田委員)

若手は経験ないために苦勞することがあります。コロナ禍後、文化祭や合唱など経験のない行事に苦勞があります。勤務時間を延ばさない相談できる場を設ける工夫としてはテスト期間に生徒が帰宅後行うなどしています。また、在校時間を延ばさない工夫としてテスト採点のため、部活動は行わないとして取り組んでいます。日ごろから勤務時間を意識した部活の終了時刻の設定などを行っています。

(小澤委員)

授業後の見直しについては参加できる人は参加します。ロイロノートで付箋を作り不参加の方に送付をします。ワークシートをためておき、ベテランが若手に示す、来年に積み重ねるなどの工夫をしています。

(前原委員)

資料4 資料5より、在校時間というのは勤務時間を超えて学校にいた時間であり、職務専念義務のある時間かと思います。持ち帰りはよりいい授業のためにはどうしても起こるものです。在校して相談しながらであればさらに充実した授業ができるものです。そこを、在校時間を延ばしているとするのは違うのではないかと思います。

(富田委員)

工夫をして相談をできる環境があることはとても大事かと思います。在校時間を短くすることだけにこだわると授業の質低下につながらないかと考えます。ぜひ学び合う学びを大事にしていきたいです。

電話について伺います。電話対応終了時間を決めることはうまくいっていますか。保護者や地域に受けとめられていますか。

(委員長)

特に問題はないです。着信歴をみてかけなおすなどの対応はしています。

(高堀指導主事)

当初の午後7時は市教委より提示しました。緊急の場合は市教委へとしています。だんだん時間を早めています、各校の状況を確認しながら行っています。

(富田委員)

部活動の地域移行について伺います。進捗はどのようになっていますか。

(高堀指導主事)

部活動検討委員会を令和4年度に立ち上げ、モデル校にて取組を行っています。少しずつ、学校を超えて部活を行うことで大会に参加できるようになった事例もあります。休日の部活動を地域に出すことが最終の目的ですが、現在の部活を基に外部指導者を取りこみ部活顧問の教員が順に休みを取るなどしています。地域の指導者・外部指導者がなかなか増えないことは課題の一つにな

っています。

(委員長)

今回は多くの学校から現場での取り組みや意見をいただきました。とくに若手の育成について話が聞けました。それぞれ各校で今後に生かしていただければと思います。

(2) その他

(委員長)

その他について事務局よりお願いします。

(高堀指導主事)

1点お願いいたします。

多忙化解消推進委員会の回数について、7月、12月の年2回としておりますが、回数を増やした方がいいのではないかという意見をいただいております。この点につきまして、委員のみなさまのご意見を伺えたらと思います。

(委員長)

委員会の回数について、意見はございますか。

(小澤委員)

昨年度、第一回においては、本日のように在校時間等について意見をふまえて今後の取組について検討し、第二回ではその意見を踏まえて状況を整理し年間どのように取組もうかという意見交換を行いました。であるとするこの2回でよいのではと思います。市からの取組状況報告、各学校現場の実態を踏まえることができたので有意義であると思います。

(石黒委員)

回数を増やすことは有意義であると思うが、平日に仕事を休むと年4、5回となると厳しい面もあります。オンラインなど検討いただけたらと思います。

(采女管理指導主事)

文教委員会で意見が回数を増やすことはどうかと出たので伺いました。また報告の場があれば伝えます。

(櫻本委員)

多忙化解消プランの4番目で業務改善環境整備に向けた取り組みに会議調査の精選とあります。例えば若手の研修の全体での実施は難しいが、中学校では空きの時間に講師と教師の情報交換を行うなど工夫は行っています。この会議回数増加はプランに逆行すると考えます。

(委員長)

事務局は、委員の意見を参考にし、報告をお願いします。

それでは、我々に与えられました議事については終了しました。

事務局にお返しします。

（吉田課長）

委員の皆様、長時間にわたるご審議ありがとうございました。

次回、第2回推進委員会については12月に小牧市役所で開催を予定しております。後日、皆様のご都合を確認させていただき、開催日が決定したところでご連絡差し上げます。お忙しいところ恐縮ですが、よろしくお願いいたします。
それでは、これをもちまして、第1回小牧市教員の多忙化解消推進委員会を閉会いたします。